

6 株式会社ウイライツ

【日 時】平成28年10月24日(月) 15:00~16:30

【場 所】株式会社ウイライツ(東京都港区東麻布)

【取材先】株式会社ウイライツ 代表取締役 村上 竜一 氏

【主なご意見など】

◆株式会社ウイライツ(村上氏)について

⇒子育て、教育施設へのおやつ企画・販売、また経営効率を高めるためのコンサルティングサービスを提供している会社。

村上氏は、2007年4月より(株)エムアウト キッズベースキャンプ事業部に入社(後に東急電鉄に売却、株式会社キッズベースキャンプに)。店舗統括マネージャーとして、全店舗の運営管理を行ったことがあるため、学童保育には精通している。

◆プログラム、コンテンツ実施の方法や相手先について

⇒導入部分が長くないものや、シンプルなものの方が良いだろう。公設公営等、シニアの指導員の方が多い場所でも、シニアの方がやれる内容なのかが問われる。多少若手が多い事業者を選んで実施しないと、最初は難しいのではないかと。理想は、子ども達が積極的にどんどん進めていけるもの、指導員はちょっと見て、流れを少々進行してあげればよい程度のコンテンツが望ましいのでは。

◆連続プログラムでの頻度

⇒多くても一か月に一回実施程度の頻度が好ましいだろう。週一回程度になると回数が多い印象がある。夏休み等の長期休み中に、固定の時間で一週間行うなど、凝縮して行うことはありだと思う。

◆開発協働パートナーについて

⇒民間企業で公設民営の運営委託を受けている学童保育や、従前は公設民営の運営委託のみを行っていたが近年、自前で学童保育を開設した企業など、行政と何らかのつながりがある民間企業をパートナーとして模索してみると良いのではないかと。思う。

